

安全データシート

NeXtal MBClass II Suite

作成改定日：2023.05.19

文書整理番号：SDM2305123-0-J

1. 化学品及び会社情報

製品等のコード 130712 / 130912

化学品の名称 NeXtal Tubes MBClass II Suite / NeXtal DWBlock MBClass II Suite

供給者情報

会社名 NeXtal
6201 Trust Dr
Holland, OH 43528
USA

電話番号 +1-419-794-7890

日本総販売元

会社名 ワケンビーテック株式会社 企画推進部
〒562-0035
大阪府箕面市船場東 3 丁目 6 番 62 号 SembaLS ビル 3 階

電話番号 072-749-5300

URL www.calibrescientific.com

緊急連絡電話番号 CHEMTREC
米国およびカナダ +1-800-424-9300

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 : データなし。

急性毒性（経口） : 区分 2

急性毒性（吸入） : データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : データなし。

皮膚感作性	: データなし。
生殖細胞変異原性	: データなし。
発がん性	: データなし。
生殖毒性	: データなし。
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: データなし。
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: データなし。
水生環境有害性（急性）	: 区分 2
水生環境有害性（長期間）	: 区分 2

GHS 表示

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害。
H318 重篤な眼の損傷。
H411 長期的継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き 安全対策 :

- P264 取扱い後に手をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 :

- P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときには医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易にはずれる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- P391 漏出物を回収すること。

保管 :

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態 : データなし。
の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	EC 番号	化審法番号	分子量 (g/mol)	濃度 (% w/w)
ポリエチレングリコール (PEG)	25322-68-3	500-038-2	7-129	-	>= 1 - < 40
酢酸亜鉛 (Zinc acetate)	5970-45-6	209-170-2	2-693	219.51	>= 1 - < 10

4. 応急措置

一般的な措置	: 危険域から避難させる。 この安全データシートを担当医に見せる。
吸入した場合	: 直ちに医師に連絡すること。 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
眼に入った場合	: 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を護る。 多量の水で 15 分間以上よく洗浄し、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 間違えて飲み込んでしまった場合は、医師の指示を受ける。 口を水ですすぐ。 意識がない場合、口から絶対に何も与えない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な 徴候症状	: 飲み込むと有害。 皮膚刺激。 強い眼刺激。 吸入すると有毒。 眠気やめまいのおそれ。 発がんのおそれ。
医師に対する特別な注意事項	: データなし。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。
特有の危険有害性	: 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 製品の分解物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
有害燃焼副産物	: 窒素酸化物(NO _x) 炭素酸化物 金属酸化物 酸化カリウム 酸化マグネシウム 一酸化炭素、二酸化炭素、および未燃焼炭化水素（煙） 塩素化合物 塩化水素ガス
特有の消火方法	: 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。
消火を行う者の保護	: 消火活動時には必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 保護具を使用する。 十分な換気を確保する。 安全な場所に避難する。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
環境に対する注意事項	: 製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 不活性の吸収材(例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収させる。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火気及び爆発に対しての保護事項	: 静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。 防爆装置でのみ使用する。 炎、熱および発火源から遠ざける。
安全取扱注意事項	: エアゾールの発生を避けること。 蒸気/粉塵を吸い込まない。 ばく露を避ける－使用前に特別指示を受ける。 皮膚や眼への接触を避けること。 個人保護については 8 章を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 作業室の換気や排気を十分に行う。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
接触回避	: データなし。
衛生対策	: 飲食物から遠ざける。

休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。
 特に限られた場所では、十分な換気を確保する。
 作業服は分けて保管する。
 皮膚、眼、衣服への接触を避ける。
 使用するときは、飲食または喫煙をしない。

保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
 混触禁止物質 : 強酸化剤、酸化性及び自己発火性製品と共に保存しない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (ばく露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
ポリエチレングリコール (PEG)	107-41-5	TWA	25 ppm	ACGIH
		STEL	50 ppm	ACGIH

作業場管理がない場合の危険物質

成分	CAS-No.
酢酸亜鉛 (Zinc acetate)	5970-45-6

生物学的職業ばく露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
データなし。						

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手腕用保護具 材質 : 保護手袋。

備考 : 適切な手袋を選ぶには素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。
 製造者によっても違うので、その点にも注意する。
 製造者から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業条件(機械的負荷、接触時間)に注意する。

眼の保護具 : 密着性の高い安全ゴーグル。
 プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。
 コンタクトレンズは着用しない。
 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。

皮膚及び身体の保護具 : 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。
 耐酸性の防護服。
 薬品からの保護靴。

衛生対策

: 飲食物から遠ざける。
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。
特に限られた場所では、十分な換気を確保する。
作業服は分けて保管する。
皮膚、眼への接触を避ける。
使用するときには、飲食または喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体。
色	: データなし。
臭い	: データなし。
臭いのしきい（閾）値	: データなし。
pH	: データなし。
融点・凝固点	: データなし。
沸点／沸点範囲	: データなし。
引火点	: データなし。
蒸発速度	: データなし。
燃焼速度	: データなし。
爆発範囲の上限	: データなし。
爆発範囲の下限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重（密度）	: データなし。
密度	: データなし。
溶解度	
水溶性	: 完全に混和する。
溶媒に対する溶解性	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし。
動粘度	: データなし。
爆発特性	: データなし。
酸化特性	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 有害な分解生成物は火があるとき生成される。 酸化剤および酸性またはアルカリ性の製品から隔離する。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報

急性毒性

飲み込むと有害。

吸入すると有毒。

製品：

急性経口毒性 : データなし。

急性吸入毒性 : データなし。

急性経皮毒性 : データなし。

成分：

ポリエチレングリコール（PEG）

急性吸入毒性 : データなし。

急性経皮毒性 : データなし。

酢酸亜鉛（Zinc acetate）

急性経口毒性 : LD50 経口（ラット）：794 mg/kg

急性経皮毒性 : データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

製品：

皮膚を刺激することがある。

成分：

データなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性強い眼刺激

強い眼刺激。

製品：

眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分：

酢酸亜鉛（Zinc acetate）

評価：In vitro ケーススタディ

（OECD テストガイドライン 437）

結果：眼に永久的な影響。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚感作性

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品 :

データなし。

成分 :

データなし。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

IARC

データなし。

OSHA

データなし。

NTP

データなし。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分 :

データなし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分 :

データなし。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分 :

データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: LC50 (Pimephales promelas) : 10,700 mg/L
藻類に対する毒性	: データなし。

成分:

ポリエチレングリコール (PEG)

魚毒性	: LC50 (Leuciscus idus) : >500 mg/L ばく露時間 : 96h 試験タイプ : 止水式試験
-----	--

甲殻類毒性	: データなし。
-------	----------

藻類に対する毒性	: データなし。
----------	----------

酢酸亜鉛 (Zinc acetate)

魚毒性	: LC50 (Oncorhynchus mykiss) : 0.55 mg/L ばく露時間 : 96h
-----	---

甲殻類毒性	: データなし。
-------	----------

藻類に対する毒性	: データなし。
----------	----------

13. 有害性情報

廃棄方法

残余廃棄物	: 本製品を排水溝、水路、地面に流さない。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。 地域および国の規制を遵守して、危険有害廃棄物として廃棄する。
-------	---

汚染容器及び包装

: 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

航空輸送(IATA-DGR)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, Liquid, n.o.s. (Zinc acetate dihydrate)
国連分類 (Class)	: 9
危険性 (Subsidiary risk)	: データなし。

容器等級 (Packing group) : Ⅲ

ラベル (Labels) : 9

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, Liquid, n.o.s.
(Zinc acetate dihydrate)

国連分類 (Class) : 3

危険性 (Subsidiary risk) : データなし。

容器等級 (Packing group) : Ⅱ

ラベル (Labels) : 3

EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F

海洋汚染物質(該当・非該当) : 該当
(Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

15. 国内適用法令

消防法 : ポリエチレングリコール (PEG)
CAS 25322-68-3 (第 4 類引火性液体 第 3 石油類水溶性液体)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第 57 条の 2 施行令第 18 条)
名称等を表示すべき危険物及び有害物
(法第 57 条の 2 施行令第 18 条)

化学物質管理促進法 : 酢酸亜鉛 (Zinc acetate)
CAS 5970-45-6 (1)

特定化学物質障害予防規則 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

アルコール事業法 : 非該当

麻薬向精神薬原料 : 非該当

がん原性に関わる指針対象物質 : 1,4-ジオキサン (1,4-Dioxane)
CAS 123-91-1 (2)

強い変異原性が認められた化学物質 : 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 非該当
航空法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
輸出貿易管理令	: 非該当

16. その他の情報

引用、参考情報等：

ASTM - 米国材料試験協会

NITE- 製品評価技術基盤機構（日本）

ISHL - 労働安全衛生法（日本）

RTECS- Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

中央労働災害防止協会- GHS モデル SDS 情報

IARC - 国際がん研究機関

IATA - 国際航空運送協会

IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則

ICAO - 国際民間航空機関

IMDG - 国際海上危険物規程

IMO - 国際海事機関

ISO - 国際標準化機構

MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約

OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局

PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性（物質）

REACH - 化学物質の登録、評価認可および登録（REACH）に関する規則（EC）No 1907/2006

UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告

TSCA - 有害物質規制法（米国）

責任の限定について

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。

また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。